

System zの

IBMは、メインフレームがお客様に継続的に革新的価値を提供することをお約束するものとして2003年に「IBMメインフレーム憲章」を発表しました。ここには、次の3つが謳われています。

Value(価値の提供)
Innovation(革新の提供)
Community(コミュニティの育成)

スペシャル企画「System zの過去・現在・未来」ではお客様インタビューを通じて「Value」をIBMエンジニアの技術解説を通じて「Innovation」をそして、IBM社内外の技術者が集う「Community」を紹介することで、過去から現在、未来へと続くSystem zの実像に迫ります。

過去・現在・未来

IBM メインフレーム憲章

Value

～価値の提供

IBMは、メインフレームの価値を高め、お客様に価値提案をして、お客様が新たな価値を生み出せるようご支援することをお約束します。

- 説得力のある明確で一貫した方法により、価値提案を強化し、コンピューティング・コストを削減する
- 使用量に基づくコンピューティングに適した利用環境に重点を置き、オンデマンド性を強化させる
- オンデマンド環境において、リソースの配分と使用状況を明確化する能力を向上させる

Innovation

～革新の提供

IBMは、技術革新をメインフレームで実現するために、最新技術を実装し、お客様の革新をご支援することをお約束します。

- 技術革新を常にリードし、統合化され柔軟性を増すビジネス・プロセスをサポートする
- 複雑で広範な基幹ワークロードを実行する高度かつ統合化された環境のために、柔軟、効率的で、変化に敏感なフラグシップ・プラットフォームとして存在する
- ユーザー・プロセスおよびシステム管理のタスクを単純化し、かつオートノミック・コンピューティング機能を向上させる

Community

～コミュニティの育成

IBMは、お客様、パートナー/ISV様、教育機関や学生の皆様のコミュニティを活性化して、人材やスキル育成をご支援することをお約束します。

- 確固たるアプリケーション・ポートフォリオや世界規模のサポート・サービスを促進し、各種プログラムをサポートすること
- オンデマンド・ソリューションの設計、開発、配置において、お客様をアシストするスキルおよび専門知識を提供すること
- 大規模で異種多様な環境においてキーとなる、オープン・スタンダードとコモン・ストラクチャーの確立に協力していく